

11月

広報

しょうわ

平成21年(2009)

No.485

主な内容

- かけがえない景観・文化を残すために…… P2
- かつぎまんどう…………… P4
- 昭和の秋まつり…………… P8



「こんにゃく芋の収穫が最盛期」

こんにゃく芋の生産量が日本一を誇る昭和村。収穫作業が最盛期を迎える11月、入原地区桂坂付近の畑では角田順一さん(森下下)が専用の機械を用い、こんにゃく芋の掘り取り作業を行っていました。10月下旬から11月にかけて村内のいたるところで行われるこんにゃく芋の収穫風景は、昭和村の秋の風物詩となっています。



the most beautiful
villages
in japan

かけがえのない 景観・文化を残すために

昭和村は10月6日、「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。

農山村の優れた景観や独特の文化を守り未来につなげ、地域の発展を目指す「日本で最も美しい村」連合の定期総会が10月6日、山形県大蔵村で開催され、新たに昭和村を含む15の町村と地域が同連合に加盟することが承認されました。

「日本で最も美しい村」連合への加盟は、群馬県内はもとより関東圏内で初めて。また、今回の総会では昭和村とともに中之条町伊参（いさま）地区が連合に加盟しました。

「日本で最も美しい村」連合とは

「日本で最も美しい村」連合は、小さくても輝くオンリーワンを持つ農山村が、自

らの町や村に誇りを持って自立し、将来にわたって美しい地域であり続けるため、北海道美瑛（びえい）町に事務局をおき活動している非営利活動法人です。

素晴らしい地域資源を持ちながら過疎にある美しい町や村が、「日本で最も美しい村」を宣言することで

①自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと

②住民によるまちづくり活動を展開することで地域の活性化を図り、地域の自立を推進すること

③生活の営みにより作られてきた景観や環境を守り、これらを活用することで観光的付加価値を高め、地域の資源の保護と地域経済の発展に寄与

ご存知ですか？

「昭和村ふるさとを守り育てる条例」

皆さんは昭和村に制定されている「昭和村ふるさとを守り育てる条例」をご存知ですか。

この条例は、村、村民、事業者が一体となり、優れた村の環境やふるさとの景観を未来へ引き継ぎ、守り、育み、後世に伝えていく取組を進めることで平成11年3月23日に制定されました。



村内に数多く現存する養蚕農家の家並み

赤城山のすそ野に広がる雄大な河岸段丘



「日本で最も美しい村」連合 こんな活動をしています

「日本で最も美しい村」連合では、失ったら二度と取り戻せない、そんな日本の農山村の景観や環境、文化を守る活動を行っています。

主な活動内容（公式ホームページより抜粋）

- 加盟自治体の自立・発展のために、相互の経験や研究を共有しあう場所を提供すること
- 「日本で最も美しい村」の計画的な保全を行い、経済的価値を高め、社会的発展を促すこと
- 地域の魅力を発信し、交流人口の増加による地域経済の発展を推進すること
- 町や村の現状について多くの国民に理解を求め、また、その地域ならではの景観や財産を後世に引き継ぐ必要性についての世論を高めるための広報活動を行うこと



定期総会で連合のロゴプレートを受け取る加藤村長

すること

を加盟町村は推進するために、平成17年に北海道美瑛町や徳島県上勝町など7つの町村で発足しました。

連合に加盟するためには条件と選考があり、人口が概ね1万人以下であることや景観や文化などの地域資源が2つ以上あること、連合が評価する地域資源を活かす活動があるなどの条件を満たすことが必要です。

雄大な景観 養蚕古民家を評価

昭和村では赤城山の西北ろ

くに広がる赤城高原で、日本

百名山に位置づけられる、武尊山や谷川岳をはじめ、遠く

に浅間山などの山々を一望できる大パノラマと河岸段丘、農村風景が広がっています。

また、歴史的にも貴重な養蚕農家の家並みが現存し、これらに開発の手が加えられていない良質な地域資源がそのまま残されています。そして、生越地区の横井戸など、独特の生活文化があります。

今回このような貴重な地域資源が評価され、昭和村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。

優れた景観・生活文化を
未来につなぐために

これらは、私たち村民が当たり前のように見えてきた景色をこの機会にもう一度再認識し、昭和村のこの素晴らしい景観や文化を守り育み、未来につなげていかなければなりません。

村では、今回「日本で最も美しい村」連合に加盟したことに、村の素晴らしき景観や文化に自信と誇りを持ち、名実ともに「日本で最も美しい村」となるような村づくりを、村民の皆さんとともに推進していきたいと考えています。

連合に加盟している団体

現在「日本で最も美しい村」連合には、33の町村と地域が加盟しています。

- ①北海道美瑛町（事務局）、②北海道赤井川村、③山形県大蔵村、④岐阜県白川村、⑤長野県大鹿村、⑥徳島県上勝町、⑦熊本県南小国町、⑧宮城県高原町、⑨長野県木曾町開田高原、⑩北海道標津町、⑪岐阜県下呂市馬瀬、⑫北海道鶴居村、⑬北海道京極町、⑭山形県飯豊町、⑮長野県中川村、⑯長野県南木曾町、⑰京都府伊根町、⑱高知県馬路村

- 今回新たに加入した団体 ⑲秋田県小坂町、⑳秋田県東成瀬村、㉑群馬県昭和村、㉒群馬県中之条町伊参、㉓山梨県早川町、㉔長野県小川村、㉕長野県池田町、㉖奈良県曾爾村、㉗島根県海士町、㉘岡山県新庄村、㉙愛知県上島町、㉚福岡県星野村、㉛長崎県小値賀町、㉜宮城県綾町、㉝鹿児島県喜界町



定期総会後に行われた33団体そろっての記念撮影

子どもたちが紡ぐ伝統

かつぎまんどう

川額地区では9月28・29日、森下地区では9月30日・10月1日の二日間、五穀豊じょうを祈る豊年踊りが行われる。養蚕の神とされている諏訪大明神を祭るこの行事。諏訪祭としては他の地方では見られない、「かつぎまんどう」という独特の風習がある。養蚕が盛んだった江戸時代後期に始まったとされる伝統の行事は、子どもたちによって今も紡がれている。



八木節の音色にのってやぐらをまわる七回めぐり(大森神社)

江戸時代、村内のいたる地域で養蚕が盛んに行われ、収入の多くを養蚕経営に頼っていました。そのため、養蚕の神とされる諏訪大明神の信仰が厚く、養蚕農家が見られなくなった現在も、川額・森下両地区では諏訪祭として豊年踊りが行われ、諏訪信仰が息づいています。

川額・森下地区で行われる豊年踊りは、それぞれ区会や地区の青年団が中心となつて毎年行われる秋の恒例行事として、八幡会(川額地区)や八木節保存会(森下地区)のおはやしに乗って八木節が披露されるほか、青年団や婦人会、若妻会や育成会が手踊りを踊り、にぎわいを見せます。この祭りの中で飾られるのが「かつぎまんどう」です。

かつぎまんどうは、心棒と呼ばれる一本の柱に人形を乗せ、さまざまな飾り付けをしたもので、高さはおよそ3メートル、重さはおよそ40キロにもなり、これを一人で担ぎます。制作するのは中学生の男子。祭りの1か月前から準備がはじまります。

完成したまんどうは、「宵祭り」「本日(ほんび)」と二日間行われる祭りで境内に飾られ、「本日」には「七回めぐり」

が行われます。七回めぐりは祭りを締めくくる神事で、八木節のおはよしのなか中学生がまんどうを担ぎ、ぶつけ合いながらやぐらの周りをまわります。このぶつけ合うさまを「つつかける」といい、「つつかけまんどう」という人もいます。

現在では、川額地区で上・下の2基、森下地区で上・中・下の3基、合計5基のかつぎまんどうが作られ、祭りの日にそれぞれ川額八幡宮、森下大森神社に飾られます。昭和初期までは椽久保地区でもかつぎまんどうを飾っていました。

江戸時代後期にはじまったかつぎまんどう

なぜかつぎまんどうが行われるようになったのか、残念ながら参考となる文献などが少なく、確かなものは残されていません。

明治12年生まれの高老が語った話によると、あるとき、高老の祖父が夏祭り(祇園祭)の山車の飾り付けをまねて担げるような「まんどう」を作り、秋の諏訪祭に自宅の庭に飾り立てたところ、近所の子どもたちが面白半分森下の宿通りを担ぎ歩きました。こ

それが森下中の話題となり、秋の諏訪祭の当日に神社の境内に飾ろうと決まり、大人たちが作ったのが始まりだといえます。その時作られたまんどろは、大人が二人がかりでやっとなげるもので、「かざりまんどろ」と呼ばれていました。

この話を裏付けるものとして、それぞれの地区で夏祭りにひいた山車とかつぎまんどろの人形を乗せる高欄が同じ形状をしていること、かつぎまんどろのおはやしが夏祭り（祇園祭）と同じ祇園ばやしであることなど、かつぎまんどろと夏祭りの関連性が多く、信ぴょう性が高いものと思われまます。

また、当時は夏祭りの山車のことを「引きまんどろ」と呼んでおり、「引く」に対して、「担ぐ」まんどろとして「かつぎまんどろ」と呼ばれるようになったと考えられています。

戦前のかつぎまんどろ

明治初期、子どもたちがひな人形や大根・ナスなどの野菜を材料にしておもちゃのかつぎまんどろを作って遊んでいるところを見た大人たちが、子どもたちの自主的な祭りに

してはどうかと、かつぎまんどろの一切を子どもたちの手に委ねることにしました。

このころから、かつぎまんどろに携われるのは尋常高等小学校の男子に限られ、高等科（現在の中学校にあたる）子どもたちを中心に自主的に運営を行いました。

戦前のかつぎまんどろでも重要だったことは、人形をはじめ、飾り付けの優劣でした。飾りつける人形も、現在の武者人形だけでなく、神様やひよつとなど多彩で、仕掛けを施して動く人形もあったといえます。まんどろを担ぐ人は各組とも特定の大人で、七回めぐりは、今のようにぶつけ合うことなく、鳥居をくぐって境内全体を7回まわりました。

現在のかつぎまんどろ

戦後になると、それまで大人が担いでいた七回めぐりも子どもたちが担ぐようになりました。

七回めぐりの途中、子どもたちはまんどろの重さに耐えかねて倒してしまう。そうしているうちに後続のまんどろが来てぶつけ合うようになり、現在行われている七回めぐりのかたちになりました。



ちようちんを先頭に境内にかつぎまんどろが入場(川額八幡宮)



緊迫したつかげの瞬間(川額八幡宮)



ライトに浮かび上がる八幡会の八木節(川額八幡宮)



拜殿前で行う締め儀式は黒山の人だかりに(大森神社)



婦人会・若妻会が踊りを盛り上げる(大森神社)



境内に飾られるかつぎまんどろ(大森神社)

まんどろうが できるところまで

かつぎまんどろうは現在、それぞれの地区の中学生が中心となって制作します。制作期間はおよそ1か月。夏休みの終わりごろから、制作が始まります。

子どもたちが制作する かつぎまんどろう

かつぎまんどろうは、心棒と呼ばれる一本の柱に、下から花輪、高台、行燈、高欄、岩、人形を差し込んだもので、高さおよそ3メートル、重さはおよそ40キロにもなります。飾られる人形は毎年、子どもたちが制作します。現在は専ら武者人形ですが、以前は神様や風景、仕掛けで動く人形も飾られたといえます。

作業の流れ

まんどろうの制作はまず、波

竹で作られた花輪には花飾りを結わえ、高欄には人形の四方を囲むように玉を付けて色とりどりに装飾された「波玉」と呼ばれる棒の束が結えられます。これは岩に当たりしぶきとなって飛び散った波が、太陽の光を浴びて七色に光り輝いているところを表現したものです。

実録

まんどろう制作

かつぎまんどろうはどのような制作されているのか。制作の現場を訪ねました。



①

波玉は厄除けとして各家庭に配る大切なもの。竹ひごに玉を付け、色とりどりに装飾する。

組立前に武者人形の微調整。下から見上げた時に、かつこよく見えるのがポイント。



⑤

大人の手を借りながら花輪を作成。制作もいよいよ大詰め。



④

いよいよ組み立て。心棒は2メートルを超すため、段差を利用して組み立てていく。



⑥

まんどろうが完成すると、顔見せとしてそれぞれの地区をまんどろうを担ぎながら練り歩く。このとき、小学生が太鼓のおはやしと一緒に練り歩く。



⑦

七回めぐりに挑む 中学生にインタビュー

七回めぐり直前、それぞれの地区のまんど
う長にインタビューしました。



森下上・鎌沢

いながき ゆうた
稲垣 祐太くん (森下上)

緊張はあまりしていません。けがをしないよう、うまくつかかけられるよう頑張ります。

森下中

ましち ままひろ
真下 雅央くん (森下中)

特に緊張はしていません。七回めぐりでは4、5人でまんどを担ぎます。人形の面を取ってくるぞ。



森下下・入沢

つのだ しゅん
角田 駿くん (森下下)

まんどを担ぐのは今年が最初で最後。少し緊張しています。けがをしないように頑張ります。



川額上

まつい りょう
松井 凌くん (藤井)

緊張しています。今年の武者人形は宮本武蔵。その名に恥じないよう、とにかく頑張ります。



川額下

たけのうち だいき
竹之内 大輝くん(宮貝戸)

緊張しています。今年は2人で担ぎます。とにかくまわりきりたいと思います。



玉づくりから始まります。この波玉は、七回めぐりを終えた後、厄除けとして地区の各家庭に配られる大切なもの。波玉の制作が終わると、武者人形です。武將は誰にするか決め、よろいやかぶと、人形の面を作成します。武者人形が完成すると、いよいよ心棒への飾り付けです。

飾り付けではまず、一番下に飾る花輪をつくりまします。現在では、大人たちも手伝いおこなわれるまんどりの組み立ては、2メートルあまりの心棒に花輪、高台、あんどん、高欄、岩、武者人形の順に差し込んでいきます。一度人形を差し込んだら、微調整するのが難しいので、組み立て前にかぶとや人形の面の向きを微調整します。



家や小屋など一定の場所に集ま
つてよろいづくり。



よろいやかぶとが仕上がると、人形に装着する作業に。まんどりの組み立てが近い。



お祭りが終わると、中学生が数日かけて地区の家々に波玉を配り歩く。こうして、子どもたちのかつきまんどりが終わる。

野菜王国昭和村の収穫祭、「昭和の秋まつり」。

こんにやく大鍋を食べる。

本格中華街のブタまんを食べる。

とれたて新鮮野菜を食べる。

純情畑のみのりに感謝して、食欲の秋を食べつくす。

第12回 昭和の秋まつり 秋のみのりを満喫



地元ダンスチームのフラダンス



こんにやく大鍋には長蛇の列



金魚すくい



子どもたちに大人気ヒーローショー

まつりの目玉こんにやく大鍋

2万2千人が 昭和の味に舌つづみ

村の秋のみのりを祝う昭和の秋まつりが10月4日、総合福祉センター駐車場をメイン会場に開催されました。

12回目を迎えるこのイベントは年々来場者が増え、今年のはべ2万2千人が来場、村の秋の味覚を楽しみました。

イベントの目玉はなんと、いつでも5千食分のこんにやく大鍋。会場いっぱいには漂う香りに、こんにやく大鍋の周りにはあつという間に長蛇の列となりました。

ステージ上では村フラダン



2万2千人が訪れた総合福祉センター駐車場

商いを体験 ちびっこ商店街

道行く人に自作の商品のPR



真剣に経営会議



村の子どもたちが会社経営を体験する「ちびっこ商店街」が10月4日、昭和の秋まつりに出店しました。

村商工会青年部（川端政史部長）が実施しているこの商店街は、小学5・6年生の子どもたちに、商品の企画や販売、経理などの会社経営を体験することで、商売の楽しさや達成感を味わってもらうのがねらい。

今年は7グループ40人が参加し、社長や経理、広報担当など役割分担を決め、3回の経営会議を経て秋まつりに出店。村の野菜を使ったピザや生キャラメル、アクセサリーなど、手作りの商品を、祭りの来場者に販売しました。

また、10月14日には各グループの代表者が村社会福祉協議会を訪れ、売上の一部7,503円を寄付しました。



萩原社協会長に寄付金を手渡す子どもたち



自熱!!ペイブレード大会



とれたて野菜の新鮮ドレッシング



横浜中華街の出展



新鮮野菜の販売



ジャンボカボチャの目方当て



もちつきベツタン!



大盛況のもち投げ



どれだけ長くむけるかな?

スグループ「ハノハノ」によるダンスやヒーローショーが催されたほか、屋内運動場ではタカラトミーによるペイブレード大会が開催され、大人も子どもも一日まつりを満喫しました。

共に暮らし 農業の 今を体験

農業インターンシップで農業体験



白あずきの畑に入り草むしり

インターンシップとは

学生が一定期間企業等で研修生として働き、就業体験を行う制度です。もともとはアメリカで始まった制度で、就職・転職のミスマッチをなくすために行われています。

就職先としての農業を知ってもらうことや日ごろ食している食料やその生産について関心を持ってもらおうと、全国農業会議所では、平成11年度から農業インターンシップを実施しています。

この農業インターンシップ、全国で133の農業法人が受け入れており、県内では9法人、村内では6法人が受け入れを行っています。

就業体験の希望者は学生や社会人などで、滞在期間は1週間から1か月程度。受け入れ先に下宿するなどして農業を体験します。

どんな思いを持って農業インターンシップに参加し、何を感じたのか。8月17日から9月6日まで三週間にわたり村で農業体験を行った、滋賀県立大学環境科学部二回生の小前陽さん、森友紀さんの二人に話を聞きました。

きっかけは一枚のポスター

「もともと農業インターンシップに興味があった」という二人。大学では生物資源管理理学課に所属し、農業や経済学、環境学など多岐にわたって勉強しています。たまたま校内で見かけた一枚のポスターが目にとまり、「大学で勉強していることについて、体験を通じて実習したい」と、農業インターンシップに申し込みました。

受け入れ農家と一緒に生活

受け入れ先として選んだのは昭和村の綿貫利彦さん宅

(鎌沢)。「群馬県はもろろん、昭和村についてまったく知らなかった」と小前さん。綿貫さんの家に住み込みで農業体験をした二人は、「一家はにぎやかで、楽しく過ごすことができました」といいます。

レタスの朝どり大変だった

森さん小前さんともに野菜農家での農業体験は初めて。「レタスの朝どりからキャベツ・トウモロコシの収穫、苗植えや草むしり、マルチはぎなど、一通りの農作業を体験した」という二人。「一番印象に残っている作業はレ

タスの朝どり。特に最初の一日・二日は、眠いやら何をしてよいのやら大変だった」とか。「でも、作業の後は何とも言えない充実感でいっぱい。料理もおいしかったです」とっこり。

体験を通じ考え変わる

体験を通じて、「国産の野菜や価値に対する考え方が変わった」と小前さん。森さんは「野菜を育てるために様々な手間やコストがかかり、農業にはお金がかかるということがわかった」と言います。

また、「植えた苗が順調に育つところを見ると喜びがわいてきます」と育てた野菜に愛着がわいた様子。

将来は「植物関係の研究開発を行う仕事に就きたい」という森さん。小前さんは「環境関係の仕事、企業内の環境セクションや環境関係の省庁に興味がある」といいます。

農業体験を振り返って「昭和村に来て貴重な体験ができたよかったです。機会があったらまた来たいと思います」と二人は声をそろえ、笑顔で話していました。



農業に対する考えが変わったと話す森さん(左)と小前さん(右)



誰が一番早く水をいっぱいにできるか（水くみレース）



出入りの湧水を入れた桶が追分赤谷地区を練り歩いた



会場ではトン汁や中華料理が振る舞われた



大型カルタ取りで子どもたちが熱戦

開拓魂 受け継ぎ 先人に感謝

追分・赤谷両地区で「水汲み祭り」

昭和20年代に開拓によって開かれた追分・赤谷地区で水汲み祭りが10月10日、赤谷住民センターで開催されました。

このお祭りは、先人の開拓の偉業と苦勞、その思いを忘れないようにと、追分・赤谷地域の農業後継者で組織する三代目を中心となり同実行委員会（大竹誠会長）が地域住民に呼びかけ始まったお祭り。今年で6年目を迎えます。

午前中、実行委員会のメンバーらが村指定史跡の出入りの湧水地から水をくみ上げ樽型のみこしに入れて追分・赤谷両地区を巡り、祭りの会場となった赤谷住民センターまで練り歩きました。

開拓当時、特に生活用水の確保に苦勞した先人にとって、この湧水地が貴重な生活用水の水汲み場だったことから、水汲み祭りでは毎年出入りの湧水地の水を会場に運んでいます。

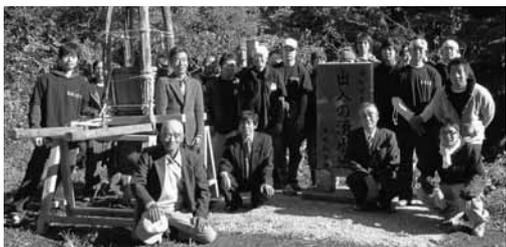
午後1時から始まったお祭りでは、水くみレースやカルタ取り、フラダンスやもち投げなど多彩な催しが行われ、子どもやお年寄り、中国人研修生らも参加して大変な賑わいとなりました。

メインイベントの水くみ

レースでは、子どもから大人まで4チームが参加。大きな水槽から天びん棒と二つのバケツを使って、ドラム缶いっぱい水を移す速さを競いました。参加した子どもたちは口々に「大変だった。昔の人はすごいと思った」と話していました。

大竹会長は「先代、先々代のおかげで今のこの地があることを忘れないように、この祭りを通じて当時の水汲みの苦勞を知ってほしい。そし

出入りの湧水地に記念碑を建立



記念碑を囲む除幕式の出席者

水汲み祭りの行われた10月10日、追分・赤谷両区長や水汲み祭り実行委員ら25人が出席し、村指定史跡「出入りの湧水地」で記念碑の除幕式が行われました。

この記念碑は、開拓当時この湧水地が貴重な生活用水の水汲み場だったことから、湧水地への感謝と先人の苦勞をしのび後世に伝えようと、水汲み祭り実行委員会が中心となって追分・赤谷両区から協賛を集め建立しました。



「開拓魂」の文字が刻まれた実行委員のTシャツ

て、たとえ昭和村から離れても開拓魂を忘れず、昭和村の子孫であることに誇りを持って頑張つて」と子どもたちに熱いメッセージを送っていました。

祭りの会場ではこのほか、トン汁やおでん、中国人研修生による中国料理などが振舞われ、集まった人たちは祭りを楽しんでいました。

祝 創立50周年

昭和村立大河原小学校



50周年を祝う児童全員の大合唱

大河原小で記念式典

大河原小学校（北原一浩校長・児童数51人）の創立50周年記念式典が10月23日、同校体育館で催されました。式典には児童やPTAのほか初代卒業生など、およそ180人が参加し、大河原小学校の50周年を祝いました。

大河原小学校は昭和35年、村立東小学校赤城分校が独立して誕生。児童数35人、11学級で開校し、これまでに1、320人の卒業生を輩出しています。

式典では、竹吉美智男記念式典実行委員長が「大河原小学校は地域の人たちに支えられて50周年を迎え、本日ここに記念式典を挙行でき、大変うれしく思います」とあいさつ。つづいて北原一浩校長が「これからも素直でまじめなやさしい子という本校の伝統を未来につなげられるよう、さまざまな活動に取り組んでいきたい」と式辞。

50年のあゆみでは、大河原小学校初代卒業生の松井三郎さん（60歳・大河原）が開校当時の学校の思い出を、スライドを使いながら語りました。松井さんは「冬になると石炭ストーブで暖をとった。当時は給食ではなく弁当で、先生が食べていたチーズが石けん

に見えてビックリした」など、児童らに当時の思い出を語りました。

児童代表のことばでは6年生の茂野愛梨さんが「現在は人数が少なくないので、みんなが兄弟のように楽しく学んでいます。50年の伝統を受け継いで100年後につなげ、大河原小学校の創立100年をみんなで祝いたいです。そして、いつまでも明るい大河原小学校が続くといいな」と語りました。

このほか式典では、学校に



50年前の思い出を語る松井三郎さん



「大河原小がいつまでも続くといいな」と話した茂野愛梨さん

50年のあゆみを

一冊の本に

大河原小学校では、創立50周年を記念して「大河原小50年のあゆみ」（A4サイズ・114ページ）を発刊しました。

大河原小学校の50年を写真や卒業生の寄稿でつづったこの記念誌を、希望される方に有償で配布いたします。

▼価格 一冊2,000円（送料別）

詳しくは、大河原小学校 ☎0278-12417 166までお問い合わせください。

新しくなりました

「ぐーちよきパスポート」

県や市町村、企業が協力して子育て家庭を応援する「ぐんまちよい得キッズパスポート」(通称・ぐーちよきパスポート)が新しくなりました。

ぐーちよきパスポートとは？

協賛店で提示すると割引やプレゼントなど、さまざまな「ちよい得」サービスが受けられるカードです。

現行カードの有効期限は平成22年3月までとなつていますが、カードが広く浸透し、多くの協賛店舗からご協力を得られていることから、来年度以降も継続していきます。



新しくなつたぐーちよきパスポート

■対象

18歳に達して最初の3月31日を迎えるまでの子ども、または妊婦のいる家庭

■有効期限

平成25年3月31日(※ただし、期限前に子どもが18歳に達した場合は、18歳の誕生日後最初の3月31日まで)

■受け取り方法

学校や保育園を通じて配布します。ご家庭で育児をしている人などは役場窓口にてお受け取りください。その際にはお子さんを確認できる書類(保険証)など、妊婦の方は母子手帳等を提示してください。

■問い合わせ

村保健福祉課福祉係 ☎0278-24-5111 (内線24) または、県少子対策・青年課 ☎027-266-2392

福島・茨城・栃木三県と連携開始!

隣接する福島、茨城、栃木の三県と事業の連携をし、平成21年11月1日から、それぞれの県の優待サービス事業を相互に利用できるようになりました。

■対象要件

18歳に達して最初の年度末を迎えるまでの子どもまたはその家庭や妊婦のいる家庭など(※対象要件は各県によって若干異なります)

■カードの取得方法

県庁少子化対策・青少年課、または村保健福祉課で受け取ることができます。対象要件を確認できるものをお持ちになつてお越しください。

福島・茨城・栃木三県のカード



新型インフルエンザのワクチン接種 特定の世帯には補助があります

県では11月、新型インフルエンザワクチンの優先接種対象者への接種が開始されました。

新型インフルエンザのワクチン接種は基本的に自己負担ですが、特定の世帯に該当する人には補助があります。

ワクチン接種を受ける前に申請をお願いします。

なお、やむをえず申請前に接種を受けた場合は、領収書と口座振込先のわかるものを持参し、手続きをお願いします。

■対象 生活保護世帯、村税非課税世帯

■申請・問い合わせ 役場保健福祉課健康係 ☎0278-24-5111 (内線26)

感染予防に努めましょう

依然として新型インフルエンザの流行が続いています。

石けんを使った手洗い、うがいの徹底やマスクを着用するなど、感染予防に努めましょう。

子育て応援特別手当 (平成21年度版) 執行停止のお知らせ

子育て応援特別手当(平成21年度版)について、先月「広報しようわ10月号」でお知らせするなど、村でも準備を進めてまいりましたが、国の事業見直しにより執行停止となりました。

なお、国ではより充実した新しい「子ども手当」の創設など、子育て支援策を強力に推進しています。

■問い合わせ 保健福祉課福祉係 ☎0278-24-5111 (内線25)

ソフトボール大会で村をPR

日本ソフトボール協会主催の第42回日本女子ソフトボールリーグ1部・第8節「高崎大会」が10月10日から12日の3日間、高崎市城南球場で行われました。



板橋芳郎教育長からリングを受け取るルネサス高崎乾キャプテン



会場には宇津木妙子元監督の姿も

白熱したルネサス高崎対太陽誘電の試合

村では、この大会に参加したルネサステクノロジ高崎事業所、太陽誘電、ホンダ、トヨタ自動車の4チームにリングをプレゼント。選手たちを激励しました。

これは、村の特産物を広くPRしようとして、村のふるさと大使の佐藤直紀さん（高崎市）が提案したもので、大会最終日の12日、板橋芳郎教育長から真っ赤に実った陽光がそれぞれのチームキャプテンに手渡されました。

大会では上野由岐子投手をはじめ北京五輪で金メダルに輝いた選手たちのプレーに、大きな声援が送られていました。

消防団が

秋季点検を実施

昭和村消防団（澤浦範行団長）では10月12日、総合運動公園多目的グラウンドで秋季点検を行いました。

午後1時から行われた秋季点検には211人の消防団員が出席。晴れ渡った秋空の下、団員らの服装や機械器具の点検が行われたほか、ラッパ吹奏や各分団によるポンプ操法、分列行進などが来賓に披露されました。

分列行進では、団員が一糸乱れぬ隊列をなし、りりしい顔で行進を行っていました。



りりしい表情で分列行進

澤浦響由さん農業功勞で表彰

収穫感謝祭2009が10月17日・18日の両日、前橋市亀里町のJABビル駐車場ほかで開催され、17日に行われたオープニングセレモニーで澤浦響由さん（66歳・鎌沢）が農業功勞者として大澤正明群馬県知事より表彰されました。

収穫感謝祭は、豊かな実りへの感謝と生産者・消費者の交流、農業や農村の果たす役割を考える機会をもってもらうと開催されているイベント。

澤浦さんは、愛子夫人とともに経営の刷新に努め大規模コンニャク経営の礎を築く傍ら、久呂保4日クラブ初代会長、

久呂保農協イチゴ部会や同アスパラ研究部会の会長を歴任。利根沼田農業協同組合理事、群馬県農業経営士として、地域農業の振興に貢献されました。

また、平成16年から平成18年にかけては村議会議長として、村全体の振興にも尽力され、これらの功績が高く評価され、今回の表彰となりました。

澤浦さんは、「夫婦そろって受賞できたことがなにより嬉しい。今後とも全体で刺激し合い、より良い経営に励んでいきたい」と受賞の喜びを語っていました。



表彰状を手に喜びの表情の澤浦響由さん愛子さん夫妻



息の合った舞を見せる参加者

見事な舞で会場を魅了

村舞踊協会（竹之内みち江会長）が主催するチャリティー舞踊発表会が10月18日、公民館多目的ホールで行われました。今年で15回目を迎えるこのチャリ



集められた浄財は、村社会福祉協議会へ

ティー舞踊発表会は、同協会が舞踊を通じて村の社会福祉に貢献をと、平成7年から催されています。発表会では村舞踊協会に加盟する7団体から70人が

日ごろの練習の成果を発表。54演目にあたって見事な舞踊を披露し、会場に詰めかけた観客を魅了しました。

正午に行われた義援金贈呈式では、竹之内会長が「今年もたくさん温かいお心をいただきありがとうございます。今日のために練習を積み重ねてきました。どうぞ一日ゆつくりとお楽しみください」とあいさつ。

その後、会場で集められた浄財13万3、979円が竹之内会長から昭和村社会福祉協議会萩原銀治会長に手渡されました。

農業国際交流15周年でお祝い

国際農業交流協議会昭和支部（竹内敏昭支部長）では10月22日、農業研修生および実習生の受け入れによる中国との国際交流が15周年を迎えたことを記念して、15周年記念式典を公民館多目的ホールで開催しました。

また、15周年を祝うため、中国吉林省より同省商務庁対外投資与経済合作処ト向敏処長ら中国人民政府関係者や派遣機関関係者6人からなる中国吉林省代表团が来村。

式典では、ト処長が「15年続いたのは互いの信頼・努力があつてこそ。今後、日中友好の懸け橋となり、さらに交流事

業が続くよう発展に期待します」とあいさつ。

このほか、中国・村からそれぞれ記念品贈呈が行われ、中国人研修生の歌唱による「北国の春」が披露されました。

平成7年から始まった国際交流事業は、農業の大規模化の一助となつており、村ではこれまでに延べ1477人の研修生および実習生を受け入れています。現在では1年間農業の勉強をする研修生から複数年度にわたつて農業実習を行う実習生の割合が増加しています。



15周年を祝い中国人研修生らが「北国の春」を合唱

まちかど

子育て会議を開催

県教育委員会主催のまちかど子育て会議in昭和が10月14日、村地域活性化センターで行われました。

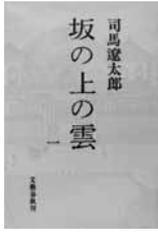
幼児の生活を充実させる心の成長をはぐくむための大人のあり方について、考えたり話し合ったりして家庭教育の充実を図ることが会議のねらい。

当日は32人が参加し、群馬大学大学院松永あけみ教授を保育アドバイザーとして招き、子どもの「ほめ方・しかり方」をテーマに3つのグループに分かれ、子どもの生活について話し合いました。



松永教授の話に耳を傾ける参加者

今月のイチオシ



坂の上の雲

司馬 遼太郎 (著)
文藝春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。全6巻



ラーマヤナ <全6巻>

アショーカ・K.バンカー(著)
/大嶋 豊(翻訳)
ポプラ社



終の住処

磯崎 憲一郎 (著)
新潮社



トーマスの知育シリーズ

ウィルバート オードリー(著)
/文平 玲子(翻訳)
ポプラ社



魔法の本と魔女
(魔女の本棚シリーズ)

ルース チュウ(著)/日当 陽子(翻訳)
フレーベル館

公民館図書室利用時間
月曜日・金曜日 午前8時30分～午後6時

村公民館図書室の本を紹介します。
このほかにも、たくさん楽しい本が
皆さんを待っていますので、ぜひご利用
ください。



交流ひろば

新婚さん、金婚を迎えたご
夫妻の登場者を募集していま
す。自薦・他薦は問いません。
皆さんどしどしご応募くださ
い。【問い合わせ】役場企画課
広報統計係 ☎24-5111
(内線32)

二人三脚で

50年

無理せず楽しく

「山あり谷ありの50年」と振り返る諸田利夫さんと米子さんご夫妻。「家族やみなさんに支えられここまで来ることができた」と言います。

「本当にいろいろな作物を作った」と利夫さん。こんにゃく・養蚕が中心の農業から、加工トマトの栽培へ移行。「フキの栽培や成果トマト、ほうれん草も栽培した」といいます。ほかにウドの栽培や、キュウリの交配も行いました。中でも加工トマトは20年近く栽培を続けてこられました。

また、利夫さんは農業に励む傍ら、神官として様々な祭りごとで神事を執り行ってこられ、現在でも依頼を受けます。

平成18年に農業を引退したお二人は現在、お子さんと夫婦とお孫さんと一緒に7人暮らし。「球技が好き」という利夫さんは、北毛大会を制した選り手球の一員で、今は「ゴルフを楽しんでいる」のだとか。

米子さんは「今年も買った菊の苗がきれいに咲いたので、来年は永く楽しめるように、色々試したい」とにっこり。

「二人一緒にいられることが幸せ」と笑顔の二人。「若い世代と同居していることも安心」と米子さんは言います。

今後は「体を大事にしながらか、無理をしないで、楽しく長生きしたい」と声をそろえていました。



諸田 利夫さん (72歳) 入原上
米子さん (74歳)
(昭和34年10月8日入籍)

みんなの オアシス

「結婚の森」

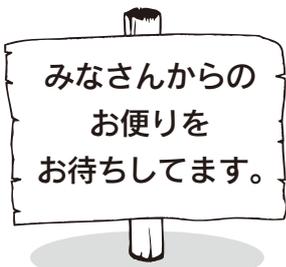
桜の成長見守って

追分地区の「結婚の森」で毎年、幸せなカップルが桜の苗木を植樹されています。

イベントとしては記念植樹の1回だけですが、地元の人たちが下草刈りなど、年間をとおして世話をしています。

「結婚の森」で植樹をされた皆さん、お二人で植えた桜は大切な記念樹です。どうか、時々見に来て桜の世話をしあけてください。そして、桜の成長を見守ってあげてください。

(匿名)



次回登場者紹介

明るく、礼儀正しい一つ年下の後輩で、中学校ではバスケット部と一緒に汗を流しました。

同じ大学を卒業し、仕事も同じ農家なので、今でも話がよく合います。

お互い仕事が大変だけど、たまには息抜きで飲みに行こうな。



たかはし 剛 さん
(22歳・吹張)



紅葉真っ盛り。秋の行楽シーズンです
(11月7日 関越自動車道永井川橋)



「家族と仕事」

今、僕は父の仕事を継いで農業をしています。

仕事を継ぐきっかけは、父や母、祖母祖父の手助けをしたいと思います。

最初は仕事が全く分からなかったけれど、父が少しずつ教えてくれたので、今では仕事の流れを覚えてきました。このごろ、やっと家族の手助けになっていていると思えてきました。

今でも仕事は辛いけど、家族のみんなから「お疲れさま」や「いつもありがとうね」の言葉をかけられると、明日もがんばろうと思います。

決して楽な仕事ではないけれど、家族のかけられる優しい言葉で一日一日をがんばりたいと思います。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
 次回の登場者は、はやし林 ごういちろう宗一郎さん(22歳・生越)です。





笑顔でサッカーボールに親しむ園児たち(第一保育園)

サッカーに親しむ

子どもたちにボールをける楽しさを味わってもらおうと県サッカー協会キッズ委員会が10月22日、第一保育園の園児たちを対象にサッカー教室を開催しました。

教室には同協会でキッズインストラクターを務める南雲考史さんほか、ザスパ草津から2人の選手が来園。子どもたちはボール遊びやシュート練習、ゲームを通じてサッカーに親しみました。

秋の味覚 くり拾い

第一・第二・子育の各保育園では10月上旬、昭和の森山荘北側のくり林でくり拾いを楽しみました。

このくり林は、菅野三男さん(永井上)が4年前から周辺の林とともにボランティアで下草刈りなどの世話をしている林で、今年たくさんの実がなったことから、園児たちを招待。10月14日には第一・子育保育園の園児たちが菅野さんと一緒にくり拾いを楽しみました。



菅野さんと一緒にくり拾いを楽しむ子どもたち(子育保育園)

昭和の湯で美声を披露



あいさつを行う代表の山本夫妻



自慢の美声を披露する参加者

昭和の湯カラオケ友の会(山本義夫代表)による第13回カラオケ発表会が10月11日、総合福祉センター昭和の湯大広間で行われました。

同会は赤城原長寿会が中心となり、山本さん夫妻らが昭和の湯でカラオケを楽しんでいる人たちに呼びかけ、35人の会員で昨年発足。現在では村内外から90を超える会員が集まり、年6回偶数の月に発表会を開催しています。

この日は会員およそ60人が自慢の歌声を披露。「カラオケが楽しめて温泉も楽しめる素晴らしい会」と好評をほくしていました。

秋晴れのもと快走

東小・南小・大河原小の村内3校では10月27日から29日にかけて、校内マラソン大会を実施しました。

東小学校では10月27日にマラソン大会を実施。空は晴れ渡り、谷川岳方向には虹がかかる幻想的な景色の中、児童は優勝目指して激走を繰り広げました。

また、沿道には子どもたちの雄姿を一目見ようと多くの人たちが集まり、快走する子どもたちに声援を送っていました。



勢い良く校門を駆け抜ける5・6年生女子(東小)

身近な話題・情報をお寄せください。連絡先は、役場企画課 ☎24-5111です。

PICK UP Sports & Topics

スポーツ&トピックス

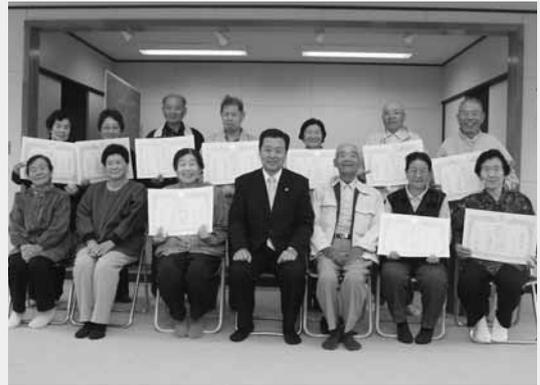
追分・赤谷地区で筋トレ認定式

追分・赤谷両地区で10月5日、らくらく筋トレ体操上級の認定式が行われました。

上級の認定は、これまで同地区で行ったらくらく筋トレ体操、全48回のうち半分の24回以上出席した人が対象。

今回上級の認定を受けたのは11人で、真下副村長より認定証が手渡されました。

同地区では昨年10月から、らくらく筋トレ体操を実施。現在は毎週月曜日午前9時30分から追分住民センターで13人が元気に体を動かしています。



認定証を手に笑顔のみなさん

秋の夕べのすてきなコンサート



見事なハーモニーを奏でる昭和中 brassバンド部員

昭和中学校 brassバンド部（萩原はるひ部長・部員17人）による秋の夕べコンサートが10月25日、公民館多目的ホールで開催されました。

今年で17年目を迎える秋の夕べコンサート。同部では新型インフルエンザの流行などにより、村民運動会や昭和の秋まつりで演奏することができず、一般に向けて演奏するのはこれが唯一最大のイベントとなりました。

午後6時から開演したコンサートはたくさんの人たちが詰めかけ、あっという間に会場は満席に。

今年も生徒たちが趣向をこらし、来場者と一緒楽しむすてきなコンサートになりました。



2年生コンビのデュエット



多彩なパフォーマンスで会場を沸かせる



アンコールに応え2曲を演奏

総合グラウンドを周遊



総合グラウンドを快走する参加者

村体育協会主催の健康づくりマラソンが10月17日、総合運動公園多目的グラウンドで行われました。

今年設定されたコースは、多目的グラウンドをスタートし、野球場、テニスコートをぐるりと巡る、一周およそ1キロの周遊コース。

参加者は親子の部では1周およそ1キロ、小学生の部では2周およそ2キロ、一般の部では5周およそ5キロを快走。紅葉にそまった桜の木を背に、マラソンを楽しみました。

雨の中で熱戦



雨にも負けない白熱のプレー

村ゲートボール協会（相澤春光会長）主催の第3回こんにやくカップゲートボール大会が10月1日・2日の両日、村総合運動公園多目的グラウンドで行われました。

大会には、県内はもとより関東近郊から95チームおよそ500人が一堂に会し、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。

2日間ともあいにくの雨模様となりましたが、参加者は打ち付ける雨にも負けず、試合に集中。会場となった総合運動公園は緊張と熱気に包まれていました。

秋晴れのもとゴルフ満喫

村ゴルフクラブ連合会（遠藤信藏会長）主催の第30回チャリティーゴルフ大会が10月13日、高山村の高山ゴルフ倶楽部で開催されました。

103人が参加した大会では、見事に晴れ渡った空のもと、ゴルフを楽しみました。

大会ではこのほか、チャリティーホールで寄付を呼びかけ、8万6,711円が集まりました。

この寄付金は、大会の寄付金と合わせて社会福祉協議会へ寄付されます。



秋晴れのもとさわやかにプレー



チャリティーホールで寄付

ミニバレーでハッスル

村婦人会（松井かをる会長）主催の健康づくりミニバレーボール大会が10月15日、社会体育館で行われました。

大会には村内各支部から13チーム108人の会員が参加。熱戦が繰り広げられました。

決勝戦の森下A対川額Cの試合では、緊迫したゲームを展開。互いの好プレーに大きな声援が送られていました。

なお、試合結果は次のとおりです。

優勝：森下A、準優勝：川額C、第三位：貝野瀬田岸



熱戦を繰り広げた森下A対川額Cの決勝戦

高砂大学が児童と交流



授業を参観する高砂大学生のみなさん



児童とレクリエーションで交流

高砂大学（廣田忠一学級長）では10月7日、大学生23人が南小学校に一日体験入学をしました。

この体験入学では、大学生が村内の小学校を訪れ、授業参観や給食の試食、児童らとレクリエーションで触れ合うなど、小学生との交流を行っています。

授業中の教室を訪れた大学生は、熱心に授業に取り組む児童の姿に関心。社会の授業を行っていた4年生のクラスでは、開拓時代に苦労した水について大学生のみなさんが、井戸水を使っていたことやその味など、当時の"水"について児童に語りました。

また、お昼には給食を試食。児童が実際に食べている給食を試食した大学生らは、小学校当時のお昼の思い出を互いに懐かしんでいました。

午後には体育館で1年生と交流。輪投げや羽根っこで一緒に遊び楽しい一日を過ごしました。

たくさん掘れたよ！

第二保育園では10月15日、秋の恒例行事イモ掘りを行いました。

サツマイモは園児たちが5月末に植え、大切に育ててきました。

イモ掘り作業で園児たちは、スコップを片手に悪戦苦闘しながらも、サツマイモの大きさに大喜び。大きな歓声を上げていました。

掘り出したサツマイモはたき火の中に入れられ、ほくほくの焼きいもに。夢中でほおばる園児たちは「甘くておいしい！」と満面の笑みを浮かべて秋の味覚を楽しんでいました。



ほら、大きいでしょ！

真っ赤にみのったリンゴ味わう



真っ赤に実ったリンゴのもぎ方を園児たちに説明する後藤さん

第一保育園の年長組32人が10月14日、滝寺りんご団地でリンゴ狩りを楽しみました。

リンゴ狩りは同団地でリンゴを栽培している後藤政昭さん（滝寺）が「園児たちにおいしい旬のリンゴを味わって、楽しい思い出を作ってもらおう」と企画、毎年園児を招待しています。

この日園児たちが味わったリンゴは旬を迎えた陽光。園児たちは後藤さんからリンゴのもぎ方の説明を受け、真っ赤に実った大きなリンゴをもぎとると満面の笑顔を浮かべていました。

後藤さんは「子どもたちが今日の思い出やリンゴを持ち帰り、家族でだんらんしてもらえればうれしいですね」と話していました。

村のお知らせ

役場 ☎24-5111
教育委員会 ☎24-5120
公民館 ☎〃

参加者を募集します 産業青年海外派遣事業

産業課 内線33

国際的視野を持ち、社会人として質の高い能力を身につけた青年を育成するため、産業青年海外派遣事業を実施します。

■**応募資格** 村内で農業を営む人またはその後継者で、次に該当する人
①20歳以上40歳未満、②実務経験3年以上

■**募集人数** 5人程度(※多数の場合は抽選)

■**費用** 10万円を上限に、村が参加費用の2分の1を負担(※ただし、パスポート発行などの諸経費は個人負担)

■**応募方法** 役場産業課にあ

る申込書に必要事項を記入して申し込んでください。

■**申込期限** 平成21年11月30日(月)

11月22・23日に 第50回文化祭を開催

教育委員会事務局 内線53

昭和村公民館・文化協会主催の第50回昭和村文化祭を開催します。

■**日時** 11月22日(日)…午後1時～午後6時・23日(月)…午前9時～午後4時

■**場所** 昭和村公民館・保健センター

■**内容** ①文化協会加盟団体や保育園、小・中学生の作品展 ②若妻会のチャリティーバザー お茶サービス コーナーなど

■**注意** 作品展は22日・23日の両日、バザーや催しは一部を除いて23日のみ

12月7日(月)に 行政相談所を開設

総務課 内線14

行政相談は、国道・国税・登記など国の業務、国民年金・生活保護などについての

苦情や意見を受けます。

相談を受ける行政相談員は総務大臣から委嘱された有識者です。お気軽にご相談ください。相談は無料、秘密は厳守します。

■**開設日** 12月7日(月)

■**開設時間** 午後1時30分～午後3時

■**場所** 役場会議室

■**行政相談員** 後藤金松さん(大河原)

農業委員会 選挙のお知らせ

総務課 内線14

任期満了による農業委員会委員の一般選挙は、11月29日(日)が投票日です。

農業委員会は農業全般の問題を総合的に解決していくことを目的とした、農業および農業者の一般利益を代表する機関です。

この選挙に投票ができるのは、平成21年3月31日確定の農業委員会委員選挙人名簿に登録されている人です。

なお、農業委員会委員の選挙による委員定数は20人で、立候補者が定数の場合には、選挙は行われません。

いかがですか？ 緊急告知FMラジオの調子

緊急告知FMラジオの調子はいかがですか。

村では現在、緊急告知FMラジオを通じ火災や気象関係などの情報をお伝えしています。

運用が開始されから半年。緊急告知FMラジオについて改めてお知らせいたします。

1. 毎月第3月曜日は訓練放送の日

毎月第3月曜日の正午に訓練放送を行っています。訓練放送中は最大音量で放送が流れます。

2. 必ず開封して動作確認を

購入したが未だに開封していない。そんな話を耳にします。緊急告知FMラジオはいざという時の備えです。せっかく購入していただいたものですので、開封して利用してください。

また、開封後は必ず動作確認をし、ラジオ本体が正常に動作するか確認をしてください。

なお、ラジオ本体の保証期間は購入後1年間となっています。

3. アンテナの破損はありませんか

アンテナが破損しているとうまく受信できません。また、通常のアンテナで受信が困難な場合には、同梱されているT型アンテナを利用してください。

4. 充電はしっかりされていますか

緊急告知FMラジオは、停電時などでも放送を受信できるよう、充電池を使用しています。電源コードを本体から外した状態で使用できるかどうか確認をしてください。

いざという時のため、FM OZEのラジオ放送が受信できるか、必ず定期的な確認をお願いします。

■**問い合わせ** 総務課 庶務係 (内線13)

クイズ キャッチボール



■もんだい

今月号では、9月28日から10月1日にかけて、川額・森下地区で行われる独特のお祭りについて、その歴史などをたどりました。

それでは問題です。祭りでは山車をまねて作られたまんどうが飾られますが、いったい「○○○まんどう」と呼ばれているでしょうか

応募規定

▶村に住んでいる人・勤めている人ならどなたでも応募できます。▶賞品=正解者の中から抽選で村商工会商品券500円分を差し上げます。▶締め切り=12月1日(火)。▶発表=「広報しょうわ」12月号。▶答えは必ずハガキに書き、下記要領で応募してください。

こたえ

住所(行政区も)
氏名・年齢
TEL
投稿欄…広報でとりあげてほしいことや気がついたことなど書いてください。

3791298

昭和村大字糸井三八八
昭和村役場
企画課
広報統計係

▶10月号のクイズの答えは、「35.7億円」でした。応募総数は2通。当選者は次のとおりです(敬称略)。おめでとうございます。

★尾 関 慈 (12歳) 入 原 上
★板 橋 きみ江 (73歳) 入 原 上

詳しくは、村選挙管理委員会(総務課内)までお問い合わせください。

昭和村社会福祉協議会 内線60

親子料理教室を開催

昭和村母子会ではひとり親家庭を対象に、親子料理教室を開催。本場の味中華料理に挑戦します。

皆様のご参加をお待ちしています。

■日時 11月29日(日) 午前9時

■場所 保健センター調理室

■参加費用 1人 500円

■申し込み 昭和村社会福祉協議会 ☎2011126

地域包括支援センターだより

認知症の人の 物盗られ妄想への対応

← 認知的な対応

今回から認知症の人を介護するときの具体的な対応法をシリーズでお伝えします。

認知症の人が「財布や通帳がなくなつた」と騒いだとき、たいてい最初に疑われるのは、身近な妻や夫、息子や嫁が多いようです。

基本的な対応

●自分が疑われても「自分は盗ってない」などと言いつつ興奮しない。
●自分の気持ちを落ち着かせて、なくした本人が困つ

ているのだと受け止める。

具体的な対応

●お茶を飲ませたりして、関心をそらす。
●一緒に探すことを提案し、行動を起こす。
●探してもないことがわかっている物や、毎回時間をかけることが大変な場合は、別の代替品を用意しておき、渡して納得させる。

繰り返される場合

●最小限の小銭をお年寄りが保持し、あとは家族に預ける。
●入れる場所を決めておく。
●よく隠す場所の見当をつけておく。

◆◆◆ 広報 文芸 ◆◆◆

俳句

コスモスやすなをに風を受けて
おり 藤井 三代子
組板の鯉なり梅雨の検査室
新木 武治
夏季展を終へてやすらぐ岳麦酒
大河原 一郎
初盆やしき客に聞く妻の過去
坂田 保男

友遊きてわれも八十路の秋思か
な 梅沢 まつ女
独り居の夜半の目覚めや秋あわ
れ 杉木 孜峰
わくらばを散りしく風の無情か
な 花茂 蚕声
ぼつぼつと峽の火灯る秋思かな
真下 章子

短歌

空き地ごとに吾が詩き散らせ
し朝顔の紫が匂ふ秋風に揺れ
今井 恭三郎

何時の日か役立つものと切り
ぬきし料理の記事も若き日の
夢 川端 もと

鮮やかな虹の橋みゆ台風の去
りて静もる午後の夕空
林 マス

炉の扉閉ざされゆけば子等寄
りてしばし離れず昂まる嗚咽
小林 文吉

暗闇は目の冴えくれば今宵又
赤児のごとく消さずに寝ねむ
角田 静恵

陣痛が始まりし吾娘は仏壇に
無事を祈りて産院へ向ふ
林 千恵美

稲束を一輪車に載せ稲架かけ
る半日仕事にくさめ鼻水
唐木 美智子

若き等と二時間無心に歌唄ふ
老いたる我も心は童
須藤 澄子

筆を取りて書かんとすればさ
まざまに気のみあせりて書く
事もなし
林 とみ子





広く村民の皆さんに呼びかけたいことがありましたら、このページをご利用ください。

お知らせ

公開講座を開催

◆NPO法人清流の会

立教大学大学院内山節教授を招き、「持続する農村」と題した公開講座を開催します。入場は無料、ぜひご参加ください。

▼日時 11月28日(土) 午後1時30分開演 ※受付は午後1時から

▼会場 昭和村公民館

▼問い合わせ NPO法人清流の会 理事長今橋方 ☎0278-1221-3387

青色申告決算書の

説明会を開催

◆沼田税務署

税務署職員や税務署が依頼した税理士が講師となり、青

色申告決算書の作成方法などの説明会を開催します。

▼開催日 12月3日(木)

▼時間 ①農業所得関係…午前10時～午前12時、②営業所得関係…午後1時30分～午後3時30分

▼会場 利根沼田県民局4階401会議室

▼問い合わせ 沼田税務署 ☎0278-1221-2131

初の個展を開催

◆イラストレーター・ナナピ

ウインターフェスティバルのポスターデザインなどを手掛ける村在住のイラストレーター・ナナピ(本名:高橋奈々子)が初の個展を開催します。

▼開催日 12月3～6日(予定)

▼会場 菊屋2階展示室(沼田市下之町1008)

▼展示作品 ポスター、ウェルカムボード、キャラクターデザインの原画など

▼問い合わせ 高橋奈々子さん ☎0278-13019012

12月4日から10日は

人権擁護週間です

◆沼田人権擁護委員協議会

12月4日から10日までの一週間は「第61回人権週間」で

す。

そこで、沼田人権擁護委員協議会では特設人権相談所を開設します。相談は無料、秘密は厳守します。

子どもに関すること、人権問題などで悩んでいる方はご相談ください。

なお、直接お越しになれない方は、前橋地方事務局沼田支局で電話相談を受け付けていますのでご利用ください。

▼日時 12月7日(月) 午後1時30分～午後4時

▼会場 昭和村役場会議室

▼問い合わせ 前橋地方事務局沼田支局 ☎0278-1212518

募集

第13回「群馬銀行環境財団環境財団賞」を募集

◆(財)群馬銀行環境財団

▼テーマ ①地球環境や生態系を守るための身近な実践活動・研究・提案など、②地球温暖化防止に効果がある身近な工夫や実践活動など

▼応募資格 県内の非営利活動法人・団体、個人 ※ただし、学校を除く

▼募集期限 12月7日(月)

▼応募方法 応募用紙に活動記録等を添えて提出 ※応募



おまわりさんからのお知らせ



◎警察の各種相談窓口について◎

警察では、犯罪被害に遭われた方や色々な悩みを抱えている方からの相談に応じています。

●犯罪被害者相談電話 027-221-7777
●性犯罪被害者相談電話 027-224-4356

その他にも専門的な相談窓口がありますので、困った時は何時でもご相談ください。

匿名でもOK、プライバシーは守ります。女性の方にはご希望に応じて女性警察官や女性職員がお話をうかがいます。

●警察安全相談 027-224-8080
(プッシュホン・携帯電話からは#9110で可)
(聴覚障害者用FAX 027-224-8888)
●振り込め詐欺相談 027-224-5454
●少年の悩み相談 027-254-3741
●暴力団犯罪等の相談 027-223-9386

「NPO法人被害者支援センターすてっぴぐんま」でも、相談を受け付けています。

●すてっぴぐんま相談電話 027-243-9991

特設人権相談所

家庭内や隣近所のもめごとなどでお悩みの人は、ご相談ください。村人権擁護委員が相談に応じます。
◆日時：12月7日（月）、午後1時30分～4時、**◆会場**：役場会議室

健康相談

高血圧や糖尿病などでお悩みの人は、ご相談ください。役場保健師が相談を受けます。
◆日時：11月30日（月）、午後1時～4時、
◆場所：村保健センター ☎24-5111

こころの相談

「眠れない」、「イライラして落ち着かない」など、心に悩みを持つ人はご相談ください。専門家が相談に応じます。
◆日時：12月4日（金）、午後1時30分～（事前に電話予約を）、
◆会場：沼田保健福祉事務所 ☎23-2185

女性相談センター

パートナーからの暴力やさまざまな悩みを持っている女性の相談や支援を行います。
◆日時：平日午前9時～午後8時、土日祝日午後1時～5時、
◆相談専用電話 ☎027-231-4488

今月の納期

国民健康保険税6期、下水道使用料4期、保育料11月分、学校給食費11月分は、11月30日（月）が納期です。完納にご協力ください。

わが村の人口

人口	7,767人	(- 9)
男	3,842人	(- 2)
女	3,925人	(- 7)
世帯数	2,299世帯	(+ 2)
※ ()内は前月比		
11月1日現在 (住民基本台帳人口)		
村の面積	64.17	平方キロメートル

- 用紙はホームページから印刷するか事務局まで請求
- ▼応募・問い合わせ 〒337-1084 前橋市元総社町171-1 財団法人群馬銀行環境財団事務局 ☎027-1255-6160
- 平成21年度
自衛官等採用試験を実施
- ◆自衛隊沼田地域事務所
- ▼募集人員 自衛隊生徒(高等工科大学)
- ▼受験資格 中卒(見込み含む)15歳以上17歳未満の男子
- ▼試験日 平成22年1月23日(土)
- ▼場所 前橋市南町「勢多会館」
- ▼受付期間 平成22年1月8日(金)
- ▼問い合わせ 自衛隊沼田地域事務所 ☎0278-12314111



「日本年金機構」が
 来年1月1日からスタート!

国民の皆様への信頼に応え、一層のサービス向上の実現を目指し、社会保険庁は組織・人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。現在あるお近くの社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。また、「年金事務所」は、現在ある社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変更はありません。これまで社会保険庁や社会

保険事務所の名義でご案内していた各種の書類は今後、厚生労働省または日本年金機構の名義でご案内させていただきます。なお、皆様へ何らかの手続をしていただくことは一切ございませんので、ご安心ください。日本年金機構は、社会保険庁から公的年金の運営業務を引き継いで行うこととなります。そして、公的年金制度はこれまでと同様に国の制度として、引き続き国が財政や運営に責任を持つこととなります。詳しいお問い合わせは、群馬社会保険事務局 ☎027-1254-13211まで。

窓口です



うぶごえ

□お誕生おめでとうございます。

- 常木 原澤 直之くん
- 明修 さんの子9月28日生
- 宿 川端 心優ちゃん
- 春美 さんの子10月14日生
- 森下中 関上 蒼大くん
- 良純 さんの子10月14日生
- 大河原 加藤 優一くん
- 初江 さんの子10月22日生

10月届出分

- 三ツ谷 林 大八さん
- 根岸 竹之内ミナトさん
- 宮貝戸 小林 ふく江さん
- 生越 林 せつさん
- 上内出 加藤 ときさん
- 追分 木暮 清二さん

※掲載を希望されない方は、届出の際に申し出てくだ